



長崎県 ひがしそのぎ 東彼杵町教育委員会

ICTを活用して、児童生徒に寄り添う ～ eライブラリで授業と家庭学習の充実～

東彼杵町では、児童生徒一人ひとりに寄り添った授業の実現に向け、ICTを活用した研究を重ねています。今回は、東彼杵中学校で、授業での復習と休校中の家庭で活用したeライブラリの実践をご紹介します。

■ 前時の復習は、ドリルで理解状況を確認

東彼杵町立東彼杵中学校



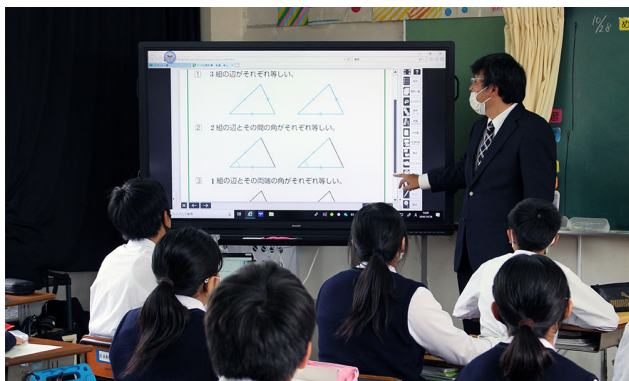
▲ 自分のペースでドリルに取り組む

数学 2年：平行と合同 三角形の合同条件

めあて 三角形の合同条件を用いて証明できる。

この日の数学の授業は、「三角形の合同条件」の演習です。授業の最初に、eライブラリのドリルで既習事項の復習をしました。生徒は授業前に、eライブラリへログインしており、号令後、先生のかけ声と同時にドリルが始まります。学習進度はさまざまですが、自分のペースで一問一問を真剣に取り組んでいました。

■ つまづきは机間指導でしっかり補い、展開につなげる



▲ 三角形の合同条件を電子黒板で確かめる

ドリルの学習進度は机間巡視で確かめ、手の止まっている生徒へ個別指導します。「生徒の理解状況によって必要な手立てが異なります」と龍現寺先生。プリントで要点を説明したり、励ましの声をかけたり、一人ひとりに寄り添った指導をしていました。

ドリルでの復習が終わると、電子黒板へ三角形の合同条件を大きく映し出し、全員で確かめてから、先生自作の学習プリントへ進んでいきました。

インタビュー

授業と家庭の学習がeライブラリでつながる

東彼杵町では、「人間尊重の基盤に立って、郷土愛や自ら学ぶ力を高め、国際社会に貢献できるたくましい心豊かな人間の育成」を掲げ、より良い授業を目指しています。ICTの活用もとても積極的で、これまでの取り組みで効果があったと感じたことは、学ぶことを焦点化できる電子黒板と、**個の習熟度に応じて、自分のペースで学習を進められるeライブラリを活用した実践です。**

最近では、新型コロナウイルスの影響による休校措置で、児童生徒へ出題した課題の回収ができず、評価につなげられないことが学校の課題になっていました。

eライブラリは、学習履歴から児童生徒の家庭での頑張りが、教員側で確認できるため、家庭学習サービスとダウンロード学習はとても重宝しています。

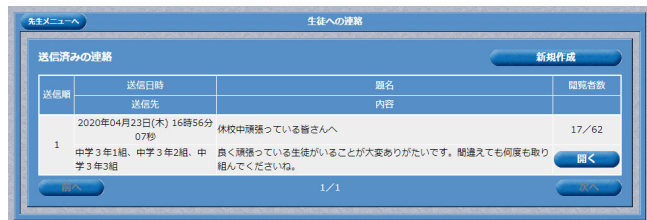


東彼杵町教育委員会
教育長
粒崎 秀人氏

休校時、生徒へ自作問題やメッセージを送信



▲ 自作問題の「今日の一問」



▲ 送信した励ましのメッセージ

東彼杵中学校では、新型コロナウイルスの影響による休校措置で、eライブラリの家庭学習サービスを利用しました。

生徒が継続して家庭学習を取り組めるように、各教科担任の先生は、さまざまな工夫をしています。先生が自作問題を出題できる「今日の一問」で、家庭学習画面へのログインの習慣を身につけさせたり、メッセージが送信できる「生徒への連絡」で、生徒の気持ちに寄り添った励ましの言葉をかけたりしています。

先生から出題された問題が好評とのことで、多くの生徒が家庭学習を継続的に利用していました。

先生の工夫

- ドリルの学習時間を短時間にすることで、集中して学習できる環境を作る。
- 生徒が継続して家庭学習をしていけるように、自作問題の「今日の一問」を出題したり、「生徒への連絡」で励ましの言葉をかけたりするようにする。

インタビュー 「良質な教育」を目指して、全員が一致団結

本校では、「心豊かでたくましく、主体的に学ぶ生徒の育成」を教育目標に『良質な教育』が実現できるよう、日々さまざまなICTを活用した実践をしてきました。教員間でも意見を出し合い、協力し合いながら、良質な教師・授業になるよう切磋琢磨しています。その取組の一つ一つが、良質な生徒の育成につながると考えているからです。

ICTは、わかりやすい授業の実現と生徒の意欲を高めるツールですが、書く活動も大切です。そのため、授業のめあてやねらいに応じて、ICTを活用する場面と書いて学習する場面を使い分けています。**eライブラリのドリルは、演習問題の反復学習や生徒が自分の理解状況を確認するときの一場で活用できます。また、書いて学習することが苦手な生徒には、タップ操作だけで学習できるところがとても良いです。**今後も研究を重ね、ICTを活用できる一場面を見つけ、生徒の学習に活かしていきたいと思っています。



校長
東本 伸二 先生

多くの問題にチャレンジでき、達成感から意欲が高まる

今回の授業は、導入の5分間に既習事項の復習としてeライブラリのドリルを利用しました。短時間での復習は、生徒も手応えを感じており、9割の生徒から復習に役に立ったと意見がありました。また、紙のプリントでは、問題が解けない生徒は次の問題に進むことができませんが、**eライブラリは、選択式の問題で自動採点のため、問題を解き進められます。「問題を全問解けた！」という達成感から意欲的な学習にもつながっています。**

数学では、図形や一次関数の問題演習のときに使いやすいです。今回の三角形の合同条件では、選択肢から答えを選ぶときに、生徒自身が「頂点や辺のアルファベットの並び順が、自分の答えと違う」と気づけ、考え直せるところが良いです。



3年担任 数学科
龍現寺 基洋 先生